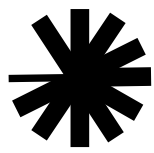


2019
4月号



原水協通信

国連NGO原水爆禁止日本協議会

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033

〒113-8464 東京都文京区湯島 2-4-2-4-



原水爆禁止大阪府協議会 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

ヒバクシャ国際署名
52万筆突破！

核兵器のない世界、非核平和の日本の実現を



3月22日（金）に天神橋筋商店街にて、大阪労連青年部で『国際ヒバクシャ署名』に取り組みました。

青年部でも世間になにか発信できることをしようと、署名活動は昨年引き続き2回目の取り組みで、今回は12筆でした。

た。核兵器廃絶は多くの方の望みでしょうし、核兵器禁止条約に日本が署名しなかったことはニュースでも大きく取り上げられていました。ですが、通行するみなさんに声を掛けるもまずは興味を持ってもらうことの難しさを今回改めて痛感しました。職場で署名をお願いするとすぐに書いてもらえませんが、街頭で出会う方の中には署名に馴染みがない人、ニュースも見えていない人も多いのだと感じました。だからこそ、こうして街頭での署名活動は『まずは知って

核兵器なくせ！の運動に青年が先頭に
大阪労連青年部が街頭宣伝行動に

被爆者が先頭に
松山五郎氏



▲松山五郎氏（中央）

もろうこと』という観点でも重要なでしょう。私たち青年部も学習会と発信を続けていきたいと思えます。

（鴻村 博）

寝屋川の被爆者松山五郎氏は、（89歳広島で被爆）は、

世界でのヒバクシャが呼びかけた「ヒバクシャ国際署名」を自らのライフワークとして、毎月大阪原水協の事務所にヒバクシャ国際署名を100筆、200筆と持参して来られます。毎年のピキニデー集会や原水爆禁止世界大会には欠かさず参加され、青年の学習会には自らの被爆体験を語られます。松山氏のファンは全国各地におられ、お札の手紙が寄せられたりしています。



今年のピキニデー集会に参加した大阪代表団

被爆国自治体の責務をはたしてこられた

核兵器禁止条約への署名・批准を求めるため、府下自治体首長の賛同者！

倉田哲郎箕面市長、後藤圭二吹田市長、森山一正摂津市長、濱田剛史高槻市長、山田紘平島本町長、田中誠太八尾市長、國下和男藤井寺市長、武田勝玄河南町長、竹山修身堺市長、松本昌親千早赤阪村長、多田利喜富田林市長、辻宏康和泉市長、阪口伸六高石市長、南出賢一泉大津市長、和田吉衛忠岡町長、藤原龍男貝塚市長、藤原敏男熊取町長、千代松大耕泉佐野市長、島田智明河内長野市長、竹中勇人泉南市長、水野謙二阪南市長

（2019年3月末現在）

※平和首長会議（日本国内1717都市、大阪府内は全自治体が加盟しています）

ヒバクシャ国際署名

52万 0117筆（3月31日現在）

核兵器禁止条約調印国&批准国

70カ国&22カ国

（3月31日現在）

※どりくみの結集をお願いします。

ふくしま大阪沖繩

連帯の輪で原発も核兵器もゼロにしよう！

大阪原水協と大阪革新懇、美術家革新懇が共催した第8回アートフェアは、「福島・沖繩に連帯して、原発ゼロ・核兵器をなくす」をテーマに中之島の中央公会堂2Fギャラリーで開催されました。

特別企画として徳井由美子さんのコンサート、小西進さんのハモニカ演奏、「沖繩知事選の勝利の記録」上映とトークなど多彩なものでした。

今年は、39名の作家が絵画や版画などを出品していただき3日間で多数の来場者があり、その売り上げの一部は、「ふくしま復興共同センター」「沖繩革新懇」などにカンパとして贈ることになっています。



▲第8回アートフェア（3.13～15）

「ビキニ被災65年 2019年3・1ピキニデー集會の記録」は、2020年を来年に控えた原水爆禁止運動の跳躍台の年と位置付け「六五年前のピキニ署名の時のように、国民の共同の力で日本の流れを変えましょう」と訴えています。これまでの運動の確信をえ、来年にむけてのこれから一年間の運動の指針をえる書籍になっています。価格は700円、大阪原水協に申し込んでください。

書籍・パンフレットの紹介



▲電力労働運動近畿センター発行



▲原水爆禁止世界大会実行委員会発行

「動き出した原発廃炉への道」パンフは、関西電力現役OBと電力関連産業で働くグループによるパンフです。そのあとがきに「電力会社で働き続けて来た私たちにとって、巨大な放射能まみれの構造物をどう処理するのか...極めて難題と思います。こうした会社方針で働いた末端の技術者であっても社会的責任は感じるのです。3年ほど前から現役やOBで議論を開始しました。原発は負の遺産です。そのため子や孫たち次世代に安全な社会を残すため必要な手立てをやさしく説明することから議論をはじめ、ようやくリーフレットにまとめることができました。電力会社社員の立場と世論の動き、そのハザマで悶々としている人達も多いと考えます...

当面のとりくみ 4月～5月上旬

【ヒバクシャ関係】

◇「2019 ノーモア・ヒバクシャ近畿訴訟全面勝利をめざすつどい」

日時 6月15日（土）午後2:00～4:30
場所 大商連会館ホール（JR環状線「玉造」徒歩10分）
共催 ノーモア・ヒバクシャ訴訟近畿弁護団
ノーモア・ヒバクシャ訴訟支援近畿連絡会
記念講演 「原爆症認定訴訟の歴史的役割と課題」
講師：久米弘子弁護士
文化行事・原告激励・被爆者からの訴え

◇「ノーモア・ヒバクシャ近畿訴訟」郷地医師証人喚問

4月26日（金）大阪地裁1007号法廷 13:10～

◇「ノーモア・ヒバクシャ近畿訴訟判決日

5月23日（木）大阪地裁 806号法廷 11:00～

【関連行事】

- ◇「5. 3輝け憲法！平和といのちと人権を！」
大阪総がかり集會 5月3日（金）13時半開會
扇町公園 *ミニコンサート *二宮厚美さん講演
- ◇「歌って・笑って・守ろう・平和！芸人9条の会」公演
5月4日（土）13:00～ 東成区民センター大ホール
木戸銭前売り券2000円（大阪原水協へ申込）

【大阪原水協主催行事】

- ◇「核兵器のない世界をめざすつどい」
5月25日（土）14:00～ 大阪グリーン会館2Fホール
富田宏治氏講演『核兵器をめぐる世界の動き、日本の対応、運動の展望』 15:20～拡大団体・地域代表者会議
2019国民平和大行進・2019世界大会の要綱の提起

共感下さる市民のみなさん、もしつかり手を繋いで、次のステップへ進みましょう。」と記されています。タイトルにあるように原発廃炉への道筋もカラー写真やグラフを使つてわかりやすく説明している原発ゼロをめざす学習教材としてお手元においてください。価格は500円（大阪原水協に申し込んでください）

毎日新聞4月4日付の記事に国連安保理で中満泉事務次長が「冷戦後の軍縮の成功は終わろうとしている。核兵器が使われる恐れはかつてなく高まっている」と強く警告し、来年のNPT再検討会議にむけて各国の取り組みを訴えている、と報じています。

核のボタンを持つ

トランプ・プーチン脅しの語録

●トランプ語録（1月31日朝日新聞）

「トランプ氏、核なき世界覆す」

「（核兵器を）米国、同盟国、そして友好国への攻撃を押し止し、平和と安定を維持するための戦略の基盤」と位置付けた。使える核を開発すること、核を使わない攻撃にも核で反撃する可能性を示唆。」

●プーチン語録（2月21日朝日新聞）

「ミサイル米本土も標的」

「（中距離核ミサイル）がロシアにとって脅威となる欧州に配備された場合、ミサイルの発射基地だけでなく、ミサイルの使用を決定する中心にも対抗せざるを得ない」と新型の超音速ミサイルなどで米本国を狙う考えを示した。